

# 流山支部

## 《流山市の概況》

流山市は、千葉県の北西部に位置し、西に江戸川が流れ、南北約10キロ東西約4キロの細長い地形の都市です。

江戸時代には「流山の白みりん」の生産地として名を馳せ、江戸川の舟運を利用して江戸の街に出荷され商都として栄えました。

今日では「流山みりん」は調味料としてはもとより飲用酒としても広く知られています。

市制施行は昭和42年1月。市制施行後半世紀を迎え、旧来の農村色豊かな田園都市から、「都心から一番近い森のまち」として住みやすい良質な都市へと変貌を遂げています。

変貌の大きな要因は、首都圏新都市鉄道（つくばエクスプレス）の流山市内縦断に併せて、駅（南流山・流山セントラルパーク・流山おおたかの森）を中心に進められた土地区画整理事業です。

面積は約700ヘクタールと広大で市域全体の約5分の1に相当します。

特に流山おおたかの森駅周辺は、これまでの畑地や平地林が大きく様変わりし、商業核・業務核として急速に成長を続けています。

最近では、若い子育て世代の人々が多く移り住み、人口は年間5000人余が増加し全国的にも屈指の増加率を示し、総人口は20万人を超える中核都市へと伸展しています。

一方、常磐自動車道流山インターチェンジ周辺の新川地区は、国内最大級の物流施設群が建設され一部は稼働を開始し、就労人口が徐々に増加し、市民の働く場の拡大の一助になりつつあります。

旧市街地と新市街地とのバランスある進展が課題であり、多くの市民の願いであります。

そこで流山本町や利根運河周辺の文化的資源の発掘・整備に努め積極的に魅力の発進を展開しています。

お近くにお越しの際は、「歴史と文化の香る街・流山」に是非とも、お立ち寄りください。

お待ちしております。

## 《支部紹介》

昭和 53 年 1 月千葉県市町村職員年金者連盟流山支部が設立され、爾来歴代支部長を筆頭に役員・会員のたゆまぬ努力により今般（令和 4 年）流山支部設立 45 周年を迎えました。

### ◎総会・懇親会の開催

毎年市内の結婚式場を会場に総会と会員懇親会を開催しています。

総会は、前年度の事業報告・決算報告・新年度の事業計画・予算などの議案を審議します。

会員懇親会は、長寿者を祝う会並びに新会員歓迎会となります。

### ◎日帰り研修旅行

関東近県の名所旧跡を訪ね、会員の親睦と知識の習得に寄与しています。

### ◎流山支部だよりの発行

会員に、支部の活動状況をお知らせする役割を果たしています。

平成 20 年 8 月 1 日に創刊号が発行されて以来、今日まで毎年 8 月 1 日に発行を続け、通算 14 号となっています。

表紙は会員で「切り絵作家 飯田信義さん」の協力を頂き、毎号趣向を変え市内の名所旧跡や伝統芸能などの切り絵作品を掲載し、好評を博しています。



『切り絵行灯がともる 流山本町通り』 切り絵作家飯田信義さんの作品

## 《クラブ活動》

4 団体が組織されそれぞれ主体的な活動を展開しています。

- ゴルフクラブ

- 華道部

「流山支部だより第 5 号」に掲載された華道部師匠の「お稽古は永久です」という寄稿文を発見。

「幾年の稽古は積みど道遠く 永久にぞ生けん四季の花々」

ご本人の和歌が添えられていました。

- カラオケクラブ

- ハイキングクラブ